

新型コロナウイルス感染予防対策について

中央製袋株式会社では、新型コロナ感染予防対策として、
社員とその家族ならびにお取引様の安全を考慮して、
代表取締役社長を本部長とする対策本部を設置し、以下の対策を行っております。

手洗い



1

工場内に入場する際には、必ず自動手洗による手洗いを20秒丁寧に行い、その後、自動消毒器で手の消毒を行ってから入場します。

朝礼



2

朝の朝礼では、従来ラジオ体操を実施した後、集合していましたが、広いホールにて、換気を取りつつ、充分な間隔をあけて朝礼を実施し、解散後、各持場にてラジオ体操を行っています。

工場の勤務体制



3

工場の勤務体制を2班に分けて、万が一感染者が発生しても、どちらかの班で生産ができるような体制をとっています。
※昼食も2班に分けて、充分ソーシャルディスタンスを取ったうえで食事するよう指示しています。

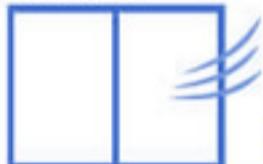
マスク着用



4

全社員に対して、マスク着用を基本とし、咳エチケットを徹底するよう指導しています。

充分な換気



5

会議や接客中の換気を充分にとるために、窓やドアを開放して風通しにつとめています。

消毒液を配置



6

社内のいたるところに消毒液を配置し、外出後や共用物に接触した後は、必ず消毒するよう指示しています。

非接触体温計



7

来客には、非接触体温計で体温を測っています。37度以上の熱がある方は、来社を遠慮していただいているいます。

コロナバリアー



8

玄関のカウンターや応接室には、弊社商品の「コロナバリアー」を配置し、飛沫感染防止に役立てています。

検温一覧表



9

全社員に対し、毎朝体温を測ってくることを義務化し、一覧表に記入させています。

※もし、検温時に37.5度以上ある場合は、自宅待機としています。

メール・FAX WEB会議



10

営業部員は、できる限り得意先への訪問を避け、メール・FAXなどのやり取りで商談を完結するように指導しています。また、WEB会議などを活用したリモートでの開催を推奨しています。

ストレス解消



11

長引くコロナ対策に対して、心身の異常をきたさないとも限らないので、上司や産業保健スタッフが窓口になり、相談に乗っています。また、自宅でのストレス解消法の紹介や万が一感染者との接触が心配されるような場面でも、うろたえることなく専門家への相談窓口を通して、落ち着いて対処できるような体制をとっています。

感染防止の意識



12

朝礼や社内報でのトップの情報発信として、近隣の感染者情報や同居のご家族を含めた注意喚起などを、こまめに行うことで、感染防止の意識を高めています。

免疫力を高めて

「新型コロナ」「インフルエンザ」に
負けない身体をつくろう!

世界的に流行している「新型コロナウイルス」に加え、インフルエンザも気になる季節です。感染対策はもちろんですが、普段から免疫力を高める生活を送ることが重要です。

免疫力を高める4つのポイント

1 バランスのよい食事

免疫細胞を活性化させるためには、栄養をバランスよく摂ることが基本です。主食・主菜・副菜がそろった食事を心がけましょう。

・免疫力を高める冬場の
おすすめ食材

- ①きのこ類… ビタミン、食物繊維が豊富で腸内環境も改善
- ②大豆… 豆腐や納豆には、良質のタンパク質がたっぷり
- ③しょうが… 殺菌・発汗作用があり体温もアップ



2 ストレスをためない

肉体的・精神的な疲れやストレスは、免疫力を低下させます。上手にリフレッシュすることが大切です。

- ①適度な休憩を挟む
- ②軽い運動・ストレッチ
- ③休日はしっかり休む



3 入浴で身体を温める

体温が1℃上がると、免疫力は5倍になるといわれています。免疫力を上げる入浴のコツは

- ①38℃～40℃…ぬるめに
 - ②15分～30分…長めに
 - ③全身浴…シャワーですまさず、湯船に浸かる
- ことです。

遅くとも就寝の1時間前には入浴をすませるようにしましょう。



4 睡眠を整える

- ①夕食は就寝の2時間前までにアルコールも控えましょう。
- ②就寝時には光と音を遮断する寝る前にスマホは見ないようにしましょう。
- ③起きる時間を一定にする体内時計のリズムを整えましょう。



1～4はそれぞれが密接に関連しています。
食事、ストレス解消、入浴、睡眠を上手に行いましょう。